

# 中学校建設工事の基本設計がまとまりました

## 概要をお知らせします

### 基本設計策定に関する経過

御代田中学校建設工事の基本設計は、昨年9月に長野市の(株)宮本忠長建築設計事務所と策定業務の委託契約を締結し、その検討作業を進めてきました。

基本設計の検討に当っては、中学校との打合せを始め、中学校建設委員会、共同調理場担当者会での協議を積み重ね、この3月には町議会全員協議会の承認も得ました。

今後は、広報やまゆり2008年1月号でお知らせしました「建替計画の概要」とおり、平成20年度に実施設計を行い、平成21年度から23年度にかけて建設工事を実施する計画です。

### 中学校建設の基本方針

- ① 機能的であり、子どもたちや地域の人々が誇りを感じる魅力ある学校とする。
- ② 地域の歴史、風土、気候を考慮した学校とする。
- ③ 環境及びバリアフリーに配慮した学校とする。

### 基本設計建物計画面積

	1階	2階	3階	4階	棟合計面積
管理棟		1,204.3㎡	1,027.7㎡		2,232.0㎡
普通教室棟	1,065.5㎡	1,065.5㎡	1,065.5㎡	1,065.5㎡	4,262.0㎡
体育館棟	859.7㎡	1,978.8㎡	316.1㎡		3,154.6㎡
渡り廊下(管理棟)		26.7㎡	26.7㎡		53.4㎡
渡り廊下(体育館棟)		42.6㎡			42.6㎡
共同調理場	889.7㎡	186.8㎡			1,076.5㎡
中間教室棟	34.0㎡				34.0㎡
階合計面積	2,848.9㎡	4,504.7㎡	2,436.0㎡	1,065.5㎡	
総面積					10,855.1㎡

- ④ 維持管理や保全が容易な施設・設備とする。
- ⑤ 学校・家庭・地域社会が連携し、誰もが気軽に集える学校とする。
- ⑥ 学校教育目標「浅間山に学ぶ」を反映する学校とする。

#### 自分たちの学校づくり

- ・「学校に関わることに地域に関わること」という理念を地域の方々と共有し、未来につながる学校づくりを目指しています。
- ・中学校は生徒の個性を伸ばす場所であり、日常の大半を過ごす場所です。「生活環境づくり」を大切にしたい計画としています。

#### 簡潔な構成とつながり

- ・各棟構成を簡潔にまとめ、生み出された空間に学校のシンボリックな存在になる中庭をつくり、校舎内外と一体的な広がりを持たせ、必要に応じた活用を可能としています。

#### 地域のシンボルとなる風格

- ・雄大な浅間山に学び、向き合い、素朴で美しい自然風景をつくることを目指しています。

#### 仮設校舎を建設しない計画

- ・工事期間の短縮やコスト縮減のみならず工事中の生徒の動線や安全にも考慮し、仮設校舎は建設せず、現在の校庭に校舎を建設します。

#### 災害時避難所になる計画

- ・災害時には、地域住民の避難場所として機能する計画としています。自家発電は短時間の利用しか見込めないため、効率の良い発電車を共同調理場に接続可能とし、体育館と併設させ緊急時にも対応できる配慮をしています。

#### 気候風土に配慮した建物計画

- ・冬季の厳しい自然と向き合った経験実績を細部に活かし、建物の長寿命化を図り、維持管理コストを抑制する計画としています。



## 全体配置計画の概要

浅間山に学ぶ

浅間山に向き合うような校舎配置とし、校舎内外のいろいろな場所から眺望できる計画としています。

## 「表・裏」のない回遊性のある構成

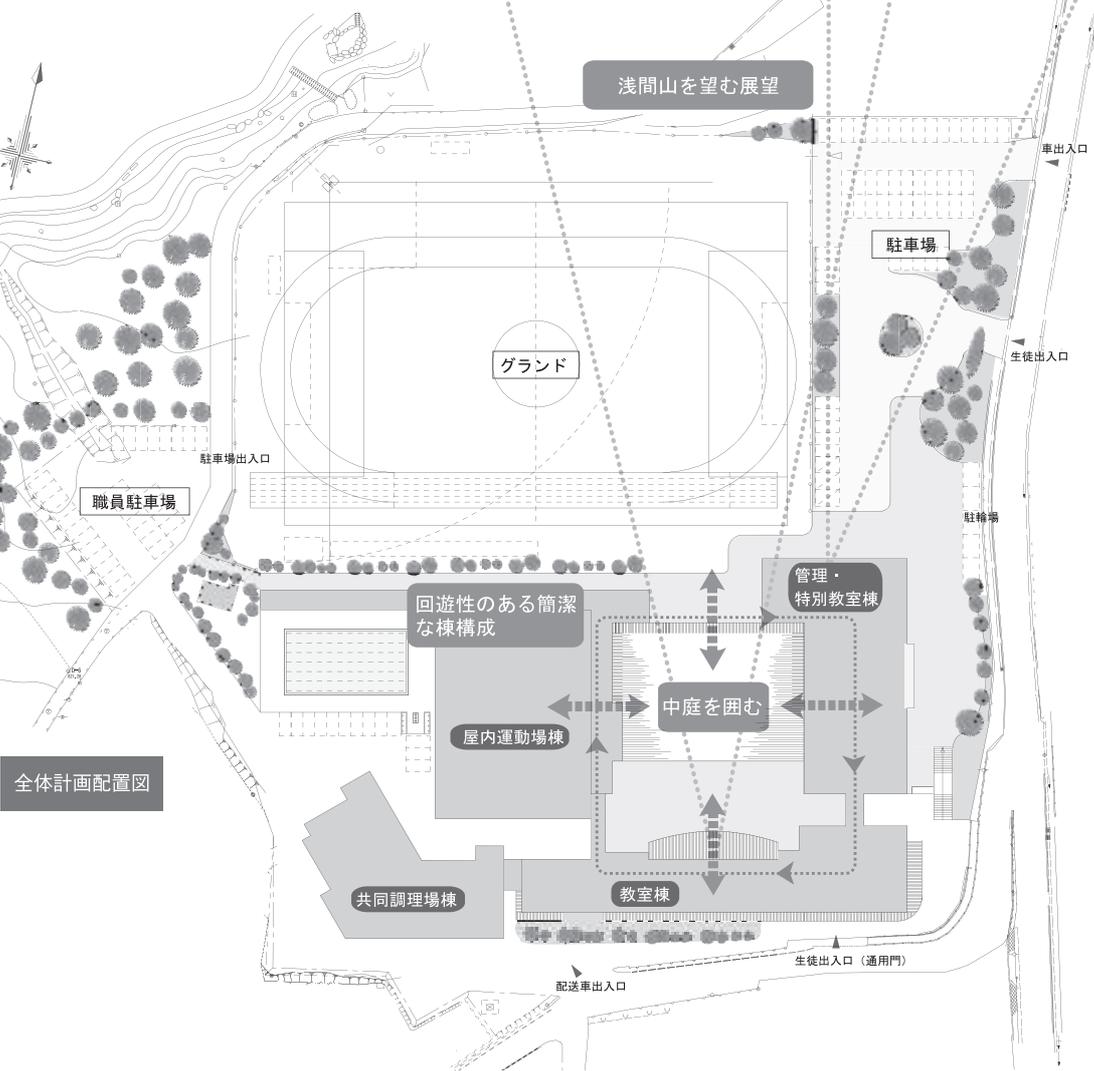
各所要室は簡潔にまとめ、分かりやすい構成としています。各棟間を渡り廊下でつなぎ、全体に回遊性のある計画としています。

## 教室棟計画

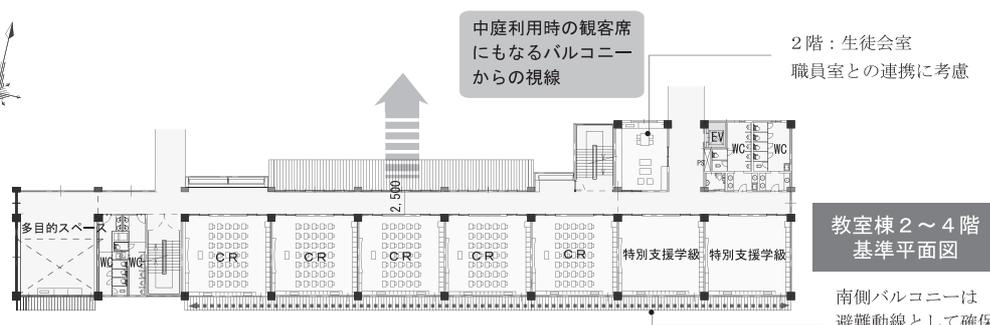
1階音楽室は、廊下側テラスのサッシュをフルオープンできる構造とし、中庭との一体的活用ができる計画としています。

普通教室棟の2〜4階には、少人数数学級や、6クラス対応だけでなく、多様な活動場所としても有効な活用ができる多目的スペースを設けています。

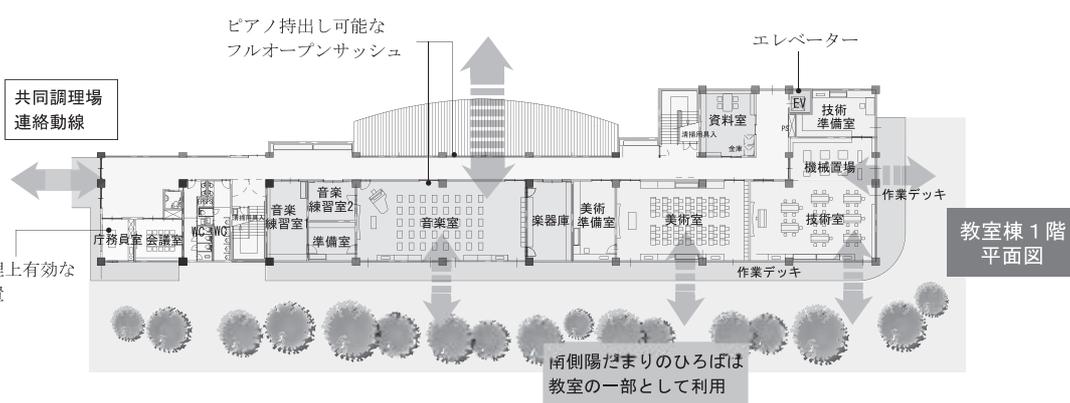
教室南側バルコニーは、緊急時の避難動線として確保しています。



全体計画配置図



教室棟2〜4階 基準平面図



教室棟1階 平面図